



感じて動く ～ Feel & Move ～

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしいいっぱい たくまさいっぱい

三城小学校 学校だより
R5. 6. 19 第6号
校長 田中康隆

いつでも・どこでも・続けてこそ本物！～全校集会講話より～

6月6日（火）の全校集会では、教頭が三城小学校自慢の1つ「はきものそろえ」について講話をしました。

きれいに並んだトイレのスリッパと乱雑に脱ぎ捨てられたトイレのスリッパの写真が、プロジェクターで映し出されました。どちらも三城小学校の写真です。「並べてある時と並べてない時がある」「並べている人と並べていない人」がいる。だから、まだ本物にはなっていないということを伝えました。

「いつでも」「どこでも」「続けて」こそ、本物になる…、長いコロナ禍で、子供たちは全校で集まって、静かに話を聞く機会が減っていましたが、子供たちの心に響く話になったようです。「本物に…」これから三城小学校の合言葉にしていきたいと思います。



人権の花、ひまわりを植えました



長崎県人権擁護委員協議会より、人権の花ひまわりの種をいただきました。これは法務省の啓発活動「人権の花運動」の一環です。早速、栽培委員会で校内の花壇に種をまきました。

ひまわりの栽培を通して、協力することの大切さや命の大切さを学び、優しい思いやりの心を育てていけたらと思います。また、たくさんのひまわりの花がそこを通る人たちの心にも響けばと思います。

秋には、できた新しい種と人権に寄せる思いをメッセージとして風船に乗せて飛ばす予定です。

車椅子体験を通して

6月7日（水）、大村市社会福祉協議会より講師をお招きして、車いす体験学習を行いました。これは、子供たちが簡単な車いすの操作や介助を経験することにより、車いす利用者を同じ地域に生活する隣人として理解し、最終的には子供たち自身が地域のバリアフリーや自分に取り組めることについて考える機会となるよう、福祉学習の一環として行っているものです。

子供たちは、活動を通してそれぞれ考えを深めていました。



水泳学習が始まりました

6月7日（水）から、水泳学習が始まりました。得手不得手はありますが、水中で呼吸できない私たちが水難等から身を守る術を学ぶ大切な機会です。また、水中で運動することで呼吸器が鍛えられたり皮膚が鍛えられたりするという話も聞きます。この時期にしかできない学習ですので、しっかり学ばせたいと思います。

子供の安全を守るため、期間中は水泳カードの提出などお手をかけます。よろしくお願ひいたします。